

鉄筋コンクリート造ピロティ柱試験体製作業務

仕様書

1. 適用範囲

本仕様書は、国立研究開発法人建築研究所が発注する「鉄筋コンクリート造ピロティ柱試験体製作業務」に適用する。

2. 目的

本業務は、建築研究所が実施している PRISM 課題「被災 RC 造共同住宅の迅速な補修補強工法選定支援データベースの構築に関する研究」に関する研究の一環として、鉄筋コンクリート造ピロティ柱試験体の地震時挙動の確認を目的とした静的載荷実験を実施する。本業務では、鉄筋コンクリート造ピロティ柱試験体の製作を行う。

3. 業務内容

別紙 1 に示す鉄筋コンクリート造ピロティ柱試験体を 4 体製作すること。この際、以下に示す事項に従うこと。

- 1) 試験体は、建築研究所実大構造物実験棟内で製作すること。なお、試験体の製作図を作成し、担当者の承認を得ること。
- 2) 別紙 1 に示す試験体に用いるコンクリートは、最大骨材粒径 13mm、スランプ 18cm で、普通ポルトランドセメントを使用したものとし、4 週圧縮強度の目標値を 35N/mm² 程度とする。実際に打設するコンクリートの呼び強度は使用するプランクの品質管理実績に基づいて担当者との協議の上で決定すること。
- 3) 試験体の下スタブ下面及び上スタブ上面は平滑仕上げとすること。
- 4) 試験体 1 体ごとに、変形測定用インサート (M6 または M8 めねじ) 約 20 個、試験体運搬用及び部材変形計測用インサート (M20 または M24 めねじ) 約 30 個を試験体に設置すること。詳細な設置位置等は担当者との協議の上で決定すること。
- 5) 別紙 1 に示す試験体には 1 体ごとにひずみゲージ約 85 枚、合計 340 枚を試験体の鉄筋に貼付すること。なお、必要な歪みゲージは担当者が用意する。また、詳細な設置位置は担当者の指示によること。
- 6) 試験体に用いた鉄筋の材料試験用供試体 (JIS Z 2241 (2011) における 2 号試験片) は鉄筋種類ごとに 6 本製作すること。また、試験体作成前に使用する鉄筋のミルシートを担当者に提出すること。
- 7) 別紙 1 に示す試験体に用いたコンクリートの材料試験用供試体 ($\phi 100 \times 200$) は現場封緘養生でバッチごと、試験体ごとに 18 本ずつ製造すること。供試体の小口は研磨して平滑にすること。
- 8) 試験体の配筋は変更される場合がある。その際は担当者と協議すること。

4. 協議

業務遂行上疑義が生じた場合は、速やかに担当者と協議すること。

5. 成果品

上記の試験体及び供試体一式。

6. 納入場所

京都府京都市西京区京都大学桂 C クラスター C2 棟
京都大学桂キャンパス C クラスター 建築構造実験棟

7. 検査

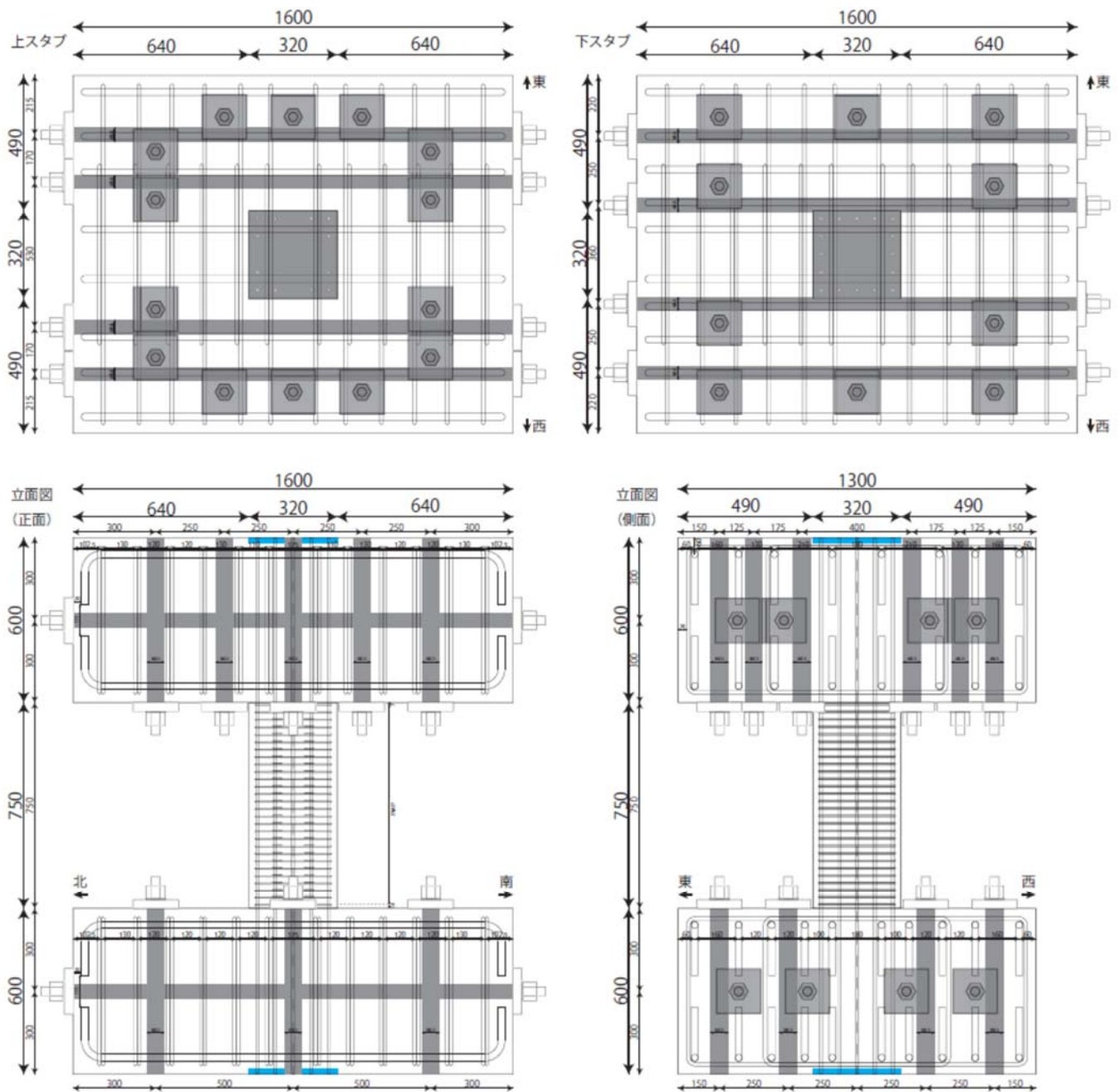
業務完了後、本仕様書に基づく担当者の検査に合格しなければならない。

8. 履行期限

契約日の翌日から令和2年10月30日まで。

担当者 構造研究グループ 主任研究員 渡邊秀和

別紙 1



柱主筋：12-D10 (SD345) + 4-D5 (SD295A)
 柱帯筋：D4@27 (SD295A)
 スタブ主筋：D25 (SD345)
 スタブ肋筋：D13 (SD345)
 スタブ鉛直鋼管：外径 60.5mm × 厚さ 2.3mm
 スタブ水平鋼管：外径 48.6mm × 厚さ 2.3mm
 Y インサート：M20 × 150, M24 × 150